

KBI NEWS

〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL: 0743-70-8600
 FAX: 0743-70-8601
 編集・発行人: 高橋めぐみ
 郵便振替: 01140-6-67708
 銀行: 尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453
 Eメールアドレス: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ: <https://www.kbiwave.com>



私たちはどう生きるか

南大阪福音教会牧師 KBI教師

福野 貴嗣 師



昨年から続くコロナ禍の中、今年度は非常に多くの新入生がKBIに与えられました。主の大きな祝福と守りの中、無事に三週間コースが終わり、一学期の学びも導かれていることを主に感謝します。今年度の三週間コースは「福音の感動く私たちはどう生きるか」というテーマでもたれました。

多くの課題を抱える日本と世界、そして先行きが見えない時代の中、多くの人々が「私はどう生きるのか」、改めて考えさせられています。ニュースや

ネットを見ても、多種多様な生き方に関心が寄せられているように思います。一方で、日々の忙しさと疲れ、そして諦めの中、「私はどう生きるのか」考えることすらできない人が多くいる現実もあります。そのような時代において、学生の皆さんは、「私はどう生きるのか」祈り求め、その実際的な一歩として、KBIでの学びを選ばれたことと思います。

先日、一箇所の御言葉が目にとまりました。「前にも言ったように、あなたがたは、私たちがともに死に、ともに生きるために、私たちの心のうちにあるのです。」(Ⅱコリント七章三節b) 一般的には、まず「生き方」を考え、その上で「死」を考えます。しかし、聖書での順番は逆であり、まずキリストの死、そして復活に合わされ、復活されたキリストとともに生きていきます。パウロは教会に対して、「ともに」キリストにあって死

に、「ともに」キリストにあって生きていくことを、心のうちに願っていたことでしょう。KBIはまさに、日々の学びや交わりの中で、そのことを「ともに」知り、実践していく場のように思えます。

最近、学生の皆さんが、私の時代には無かったようなクリエイティブな方法を用いて「福音の感動」を伝えようとしている姿に、大きな励ましを受けています。半年先がどうなっているのかさえ分からない時代において、互いに励まし合い、アイデアを出し合い、「心のうちに」覚えながら、皆さんとともに、キリストにあって歩んでいきたいと思わされています。





福音を味わって

三年 豊村 恵悟

「福音を伝える私たちは、自身自身がまず福音をよく味わっていた方が良いです。」教会で教えられた言葉を思い出します。今回の三週間コースのテーマは「福音の感動」でした。KBIの強みは宣教であると言われていました。聖書から分かるように、神様はすべての人を愛し、救われることを望んでおられ、宣教の情熱が一貫して伝わってきます。その宣教のために、私たちがまずすべきこと、すなわち福音を深く味わうことを実感できた三週間コースでした。

イエス様の十字架と復活により、罪赦され救われたこと。御霊により、日々造りかえられていくこと。何ができてもできなくても、存在そのものが受け入れられ、認められていること。神と共に働き、喜びを持つて苦勞できること。全てが福音であると思います。授業一つひとつを通してそれらを学びました。

宣教は外へ向かいます。けれども、この三週間はひたすら内へ内へと向かわされました。神様の愛を確認し、神様に与えられている召しと向き合われました。神様の愛を知れば知るほど、喜びと平安に満たされます。今度はその愛に応えたくありません。自分が満たされるためではなく、また何かを得るためにもなく、既に満たされ、最高の喜びを得ているから、それらを伝えたくなるのだと思います。福音を味わうと、自然と「美味しい」と言葉が口からこぼれ出て、口に出ずとも顔色は良くなり、それが伝わります。

入学式で大田先生が、主に仕える働きは「楽苦しい」とおっしゃっていました。苦勞し頑張ることは良いことです。神様のために一生懸命生きることが素晴らしいことです。愛を得るためにではなく、愛を得たので、それに押し出されて精一杯進んでいきたいと思われました。御霊様の助けによって。

●二〇二一年度 入学生 ●
三週間バイブルコース

- 庵原 裕矢 (福岡ハーベストチャーチ)
- 金 栄煥 (豊中第一復興教会)
- 阪田 怜士 (Be One Osaka キリスト教会)
- 山本 悠平 (東名古屋キリスト教会 パークサイドチャペル)
- 石塚 史栄 (Be One Osaka キリスト教会)
- 乾 美穂 (南大阪福音教会)
- 井上 夏実 (ホテル清水教会)
- 西田 志緒里 (ホープチャペル)
- 廣瀬 志保 (関西学院教会)
- 福井 佐也香 (奈良福音教会)
- 本科コース
- 遠藤 栄希 (東栄福音キリスト教会)
- 大西 充彦 (国分福音教会)
- 大原 智基 (カリスチャペル 神路)
- 阪本 晃行 (沖縄世界宣教教会)
- 高谷 海 (高砂教会)
- 西田 雄也 (ホープチャペル)
- 山鋪 岳 (東栄福音キリスト教会)
- 吉田 成就 (京都キリスト福音教会)
- 高内 愛 (八尾福音教会)
- 田口 佳奈 (ヒルズチャーチ)
- 坪井 久子 (木幡キリスト福音教会)
- 中嶋 祈恵 (山陽キリスト福音教会)
- 永田 愛香 (福岡ハーベストチャーチ)
- 西村 満里奈 (カンナブレイズチャーチ)
- 袴田 愛梨 (東名古屋キリスト教会 パークサイドチャペル)
- 本間 恵美 (美浜クライストチャーチ)
- CPRC (教会開拓・刷新コース)
- 太田 行浩 (ヘブンスチャーチ)
- 三戸 久史 (岬福音教会)

今の私の現実

二年 山崎 紫音

一度は解放されたはずなのに、二年生になってもなお、私は「自分」というもののがんじがらめになっていました。自分の至らなさに落ち込み、行いによって自分の価値を決め、人の目を気にし、自分を責める。以前と変わっていない自分の現実を見て、落ち込むばかりでした。

期待を持ってないまま迎えた三週間コース。しかし、もうその古い私は「キリストとともに十字架につけられました。もはやわたしが生きているのではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。」(ガラテヤ二章十九、二〇節)という御言葉が、今の私の現実であることが迫ってきました。私の心の状態や感情がどのようであっても、イエス様の十字架の事実、in Christ (イン・クライスト)にある私の立場は変わることがありません。三週間コースに期待すらもてなかった私の心に、神様は福音の感動を与えてくださいました。神様に感謝します。

主の大庭に憩う

三週間コース 福井 佐也香

KBIでのゆっくりと流れる時間に違和感を覚えるほど、いかに自分が日常に忙殺されていたのかということに気付かされました。目の前の生活のことで頭がいっぱいで、神様に祈り、聖書を読むことが日々のTODOリストの一つになっていたことすらも、KBIに来るまで、はつきりと自覚していませんでした。主の大庭で、福音に改めて感動し、神様がしてくださったことをひとつひとつ振り返る、千日にもまさる恵みの三週間を心から感謝します。



福音に生きる

三週間コース 阪田 怜士

KBIでは、朝と夜に神様と個人的に交わる時間を持つことを実践し、習慣化します。毎日主が与えてくださる恵みと必要な言葉を受け取り、神様との関係を強めることが出来ました。また、集会の中で、福音とは「救われる時のためだけにあるのではなく、力と感動を日々与える生きたものである」ということを体験しました。

これからもこの「福音の感動」を携えて人と関わり、福音を伝えていきたいです。



- 西 孝司 (宇治キリストペンテコステ教会)
- 大塚 マリ (ベニスワリメソヂスト教会言語部)
- 紙野 賛美 (淀川グレイスビルトチャーチ)
- 宮谷 正子 (チャペルらぶり)
- 週末奉仕教会●(母教会は除く)

一年生

- 遠藤 栄希 (和歌山福音教会)
- 阪本 晃行 (堺シオン福音教会)
- 高谷 海 (ヒルズチャーチ)
- 高内 愛 (淀川グレイスビルトチャーチ)
- 田口 佳奈 (香芝ゴスベルチャーチ)
- 永田 愛香 (上野芝キリスト教会)
- 西村 満里奈 (奈良ライフンクチャーチ)
- 本間 恵美 (西宮福音教会)

二年生

- 大谷 拓也 (園田チャペル)
- 奥本 耕史 (狭山福音教会)
- 姜 希樹 (奈良福音教会)
- 札幌 晔 (岬福音教会)
- 石坂 結 (活けるキリスト高田一教会)
- 川崎 真奈 (BeOneOaksキリスト教会)
- 竹内 優香 (ベテル清水教会)
- 宮内 満歩 (川西福音教会)

三年生

- 石川 良治 (ゴスベルチャーチ千里・山の辺キリスト教会)
- (隔週)
- 豊村 恵悟 (ベサニーキリスト教会)
- 花城 有哉 (ニューライフキリスト教会)
- 森田 拓人 (武生自由キリスト教会)
- 石井 すみれ (守山キリスト福音教会)
- 瀬在 曜子 (北鈴蘭台教会)
- 福井 歩 (上郡福音教会)
- 巡回伝道チーム (Switch)
- 小池 有・佐藤 創・平嶋 祐佳

献身の証

一年 中嶋 祈恵



私は生まれてすぐに特別養子縁組で中嶋家に来ました。育ての親は私の存在を認め、受け入れ、否定することなく、愛をもつてのびのびと育ててくれました。しかし、「なぜ産みの母は、私を捨てて育ててくれなかったのだろう」と長年、不信感と喪失感を抱いていました。

ある時、エレミヤ一章五節「わたしは、あなたを胎内に形造る前からあなたを知り、あなたが

母の胎を出る前からあなたを聖別し：」という御言葉が与えられました。しかし、私にはどうしても受け入れることができませんでした。

二十歳の時に産みの母と会うチャンスが与えられ、二人でゆっくり話をする中で、今までの疑問が解決され、心の傷が癒えていきました。同時に、心に平安と安心感が与えられていきました。「九十五年（私が生まれた年）ではシングルマザーという言葉が浸透していなかったから、産んで養子に出すことにした。でも、もし九十六年だったら、シングルマザーという言葉が浸透しだしていたから、育てていたと思う。」と母に言われた時、心の奥底から神様に感謝し、私の人生は本当に生まれる前から計画され、備えられていたということに悟りました。

育ての両親からもたくさんのお愛を受けてきましたが、その愛の根源は神様からの愛と計画だったと分かると、「こんな事ができるのは神様しかいない。この愛と喜びを多くの人に伝えたい。証したい。」と心から思うようになりました。神様のなさることは、すべて時にならって美

入学の証

一年 高谷 海

私が神学校に入学したいと思った時から、KBIに入学するまでに七年間かかりました。高校二年生の時に教会のキャンプで、イエス様が再び地上に帰って来られるためには、すべての民族に福音が伝えられなければならないということを知り、献身したいと考えるようになりました。それから、高校卒業後、大学卒業後と何度も神学校に行こうとしましたが、全く道が開かれませんでした。教会や家族、



親しい人からの反対、経済的な問題があったからです。自分の立てた計画がうまくいかず、神様に八つ当たりすることもありました。神学校に行きたくても行けないという状況が続いたので、私は召されていないと感じるようになり、献身するのをやめようと考えました。

しかし、何年経っても私の心の奥底では、献身することを諦めていませんでした。その事に気付いた時、献身したいという思いは私から出たものではなく、神様が私を選んで、神様のタイミングで召し出そうとしていることを知る事ができました。その頃から、献身のタイミングを考えることを止め、自分の立てた計画を手放すことができるようになりました。そして自分の願いを神様に明け渡した時、状況が変化していきました。

コロナ感染が広がる世界情勢を見る中で、今こそ献身するタイミングだと強く思われ、同時に、今まで障害となっていた経済的な問題が解決し、親や周りの人からの理解も得られ、道が開かれました。今こうして、KBIに導かれたことを神

My Story 制作インタビュー (三週間コース)

今年の三週間コースでの新しい試みは、私と神様とのストーリー「My Story」を撮影し、名刺を作るというものだ。名刺裏のQRコードを読み取ると、証の動画を見ることが出来る。神様が私に何をしてくださったのか、世界で一つしかないそのストーリーを名刺にのせ、福音を届けるために用いていく。

今回は、一年生の大原智基さんにインタビューした。

Q. My Story の作成について率直にどう思いましたか？

A. 新鮮でした。今までは教会内で証することが圧倒的に多かったんです。でも、名刺として配るんだったら、伝道の機会になるので初めて出会う人向けだなと思いました。

Q. 実際に名刺をつくるプロセスを通して、何か気付かされたことはありましたか？

A. 証をつくるために人生を振り返ると、紆余曲折があったことに気付かされ、そこからどの部分を切り抜いて話そうかと考

えました。私の場合、パニック障害を抱えていた時期があったので、この証を通して、自分のような人に神様のことを伝えたいと思いました。

Q. My Story を通して思わされたことは何ですか？

A. メッセージではなく、自分が体験した神様との関係を伝えていくことが自然だと思いました。My Story を作るプロセスを通して、自分の内に働く神様の愛の大きさに感動しましたし、それを沢山のの人に伝えなければもったいないことが分かりました。神様の栄光のために、空の器として用いられていきたいと思いました。



「私たちはどう生きるか」浜原昭仁師 講義

三年 福井 歩

金沢こころクリニック浜原先生の講義は、「私たちはどう生きるのか」という問いから始まりました。多くの人は「人生の意味とは何か」を考えますが、先生は「人生が、私に何をすることを求めているか」を考えることを教えてくださいました。今の場所、この時代に私が置かれている意味は何か、神様が私に与えてくださったっているものに何か、に耳を傾ける時となりました。私たちは何をしても良いという存在ではなく、何もなくても良い存在でもないこと。「今なすべきこと」とは、「私にしかできないこと」であり、それは既に用意されている」という言葉も心に響きました。

「人生が私に何をすることを求めているか」という問いに答えを出そうとする時、苦しみにあうこともあります。苦しみを取り除くことができるのであれば、取り除いたら良いのですが、取り除くことができないのであれ

ば、そこには意味があります。苦しい時、私たちは自分ばかりを見てしまい、過剰反省しやすくなります。そのような時は、自分に目を向けるのではなく、神様に目を向け、キリストの十字架と復活に目を向けていく。主の愛の眼差しの中に入れられていることを感じながら、生きていくことが大切であると受け取りました。



CS実践を受けて

二年 平嶋 祐佳

今年度から一、二年生が教会学校について学ぶ「CS実践」の授業がスタートしました。

授業で、「日本で十八歳以下で福音を聞いたことがあると答えた人が約七〇パーセント、また十八歳以下で信仰をもったと答えた人が約五〇パーセント」と聞き、幼い時に福音を聞くことが子どもの信仰に大きく関わっていることを知りました。神様を信じて救われた子どもたちが教会で成長し、結婚して信仰を受け継がれていくことを考えると、今教会に与えられている子どもたちは教会の宝物です。教会学校での学び、育みがどれほど大切かを考える時、身が引き締まるとともに、ここに私たちに任された神様からの使命がある！と熱くされました。

子どもへのアプローチはまさに真剣勝負の短期決戦。ゲームやイベントは子どもが心から満足でき、愛されていると実感できるものを。メッセージは子どもを心で抱く言葉や飽きさせない



い展開、コンパクトにまとめた質の高い話…と工夫が絶えません。全てを網羅できないと頭を抱えたりしましたが、つたなくても、何を言いたいのかが子どもに伝わればそれが一番いい！ということ学びました。また幼い子どもでも神様を信じるなら、信じたその子の信仰をまず大人が信じ、その子と神様との歩みに寄り添いたいと思えました。「子どもたちを来させなさい。わたしのところに来るのを邪魔してはいけません。」(マタイ十九章十四節)とあるように、主が愛してやまない子どもたちを私も愛し、ともに主の足あとを辿るものであります。

こうやって宣教しています

すぐに実が実らなくても一九七七年修了 園田チャペル

和田 伸子姉

開拓から二十年間CSを続けておられる牧師夫人の和田伸子姉にインタビューしました。

Q. どのような事をされていますか？

A. フェスタ(賛美、ゲーム、お話、おやつタイムで一時間のプログラム)を計画し、校門で案内を配ると子ども達が友達を誘って来てくれます。毎週のCSにはなかなか繋がらないけれど、フェスタならリピーターがいます。

Q. 公園伝道もされているようですが？

A. チャペルに子どもが来ない事が年に何回かあって、それで公園に行くことがありますが、コロナで二〇二〇年七月から公園伝道に切り替えました。聖書の話の公園で集中して聞いてもらうのはなかなか難しいです。まず子ども達と仲良くなる事が大事だと思っています。神様の事が少しでも残ればと願っています。

Q. どんな子どもたちですか？
A. 地域は三十代の世代が多い



ので子どもの数は多く、家庭環境が複雑な子どもも多いです。子ども達は人懐っこく、登下校時にチャペルの扉を開けて挨拶する子どももいます。私は以前「チャペルのおばちゃん」と呼ばれていましたが、今では「チャペルのおばーちゃん」です。

Q. 続けていてうれしい事は？
A. 青年になってふらつと遊びに来たり、また親になって自分子どもをCSに送ってくれる事もあります。以前、家庭が複雑な子が数回来て、後から「チャペルで嬉しかった、楽しかった」と手紙をくれた事がありました。水の上にパンを投げるような働きですが、気長にいかないと。彼らがこれからの人生で神様を思い出し、救われる事を期待しています。

ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2021.2.1～2021.5.10）（KBIへの直接献金分）

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人：増永弘、加賀清孝、高橋めぐみ、井野葉由美、福元玲子、秋元清友、岩本美保、安黒務、兼松千佳子、黄金井尚美、斎藤邦夫、兼松道子、安野清子、豊村善典、石崎政登、大北文広、田中憲昭、日向さやか、山崎利見、川合マスエ、金森洋三、一瀬泰子、熊本直美、塚原利喜男・真理、松本伸一郎・亜紀子、菅沼威、鶴野英子、高橋昭市、福澤生子、石賀満、匿名希望1名

教会 & 団体：八尾南福音教会、高槻一麦教会、浜松汀キリスト教会、峰町キリスト教会、奈良福音教会、鈴鹿キリスト福音教会、尾上聖愛教会、旭川神愛キリスト教会、久留米ベテルキリスト教会、まんがでんバイブルチャーチ、狭山福音教会、京都シオンの丘キリスト教会、ゴスペルチャーチ千里、可児福音教会、馬橋キリスト教会、チャペル犬山、垂水福音教会、北九州チャペル、高砂教会

<運営支援献金>

保土ヶ谷純福音教会、ジャパン・ベサニー・ミッション、御殿場純福音キリスト教会、鶴見純福音教会、岐阜純福音大

森チャーチ、美濃グレースチャーチ、岐阜純福音教会、伊勢原聖書キリスト教会、KBI 支援協力会（FCMF 諸教会）、小松ベタニヤ福音教会、ベタニヤ・クリスチャン・アッセンブリーズ

<特別献金>

1. 建設基金献金

個人：春名裕

教会 & 団体：秦野クリスチャンセンター

2. その他

個人：宮下真由美、坂田宏・紀志子、中坊久行・洋子

教会 & 団体：八木山聖書バプテスト教会、KBI 学生・スタッフ（KBI 礼拝献金）

■奨学基金献金

個人：亀代恵、出原市子、竹川正英、芝連代、藤井三紀子、川合マスエ、長谷川みちる、轟節雄、森本裕・眞美子

教会 & 団体：伊勢崎神愛キリスト教会、西可児キリスト教会

※KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金してくださっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

KBI 2020 年度会計報告

(2020.4.1～2021.3.31)

①一般会計	(収入)	KBIを支える会献金	3,815,570	(支出)	維持管理費	13,558,666
		支援団体献金	15,803,343		経営費	10,667,311
		特別献金	4,981,048		人件費	23,767,971
		学生維持献金他	26,646,397		退職金引当金	1,000,000
		前年度繰越金	473,421		修繕積立金	—
		収入合計	51,719,779		予備費	—
					次年度繰越金	2,725,831
					支出合計	51,719,779
②奨学基金	(収入)	奨学基金献金	1,656,000	(支出)	奨学金支給	1,505,260
		前年度繰越金	2,843,173		次年度繰越金	2,993,913
		収入合計	4,499,173		支出合計	4,499,173

2018年度より「一般会計」と「建設会計」を統合しました。

それに伴い「建設基金献金」は一般会計の「特別献金」に移行しております。

カイロス宣教コース

～父のこころを知って、あなたが変わる教会が変わる～

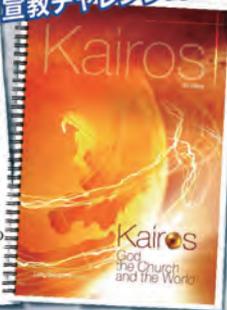
日程 2021年9月14日(金)～18日(火)5日間 8:30～16:00 土曜日は昼まで
※原則全参加となっております。

費用 受講料:17,500円 食費:朝400円・昼500円・夜600円
※テキスト代2,500円を含む

会場申込 関西聖書学院 (KBI) TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601
※受付時間:火～金曜日AM8:30～PM4:00 E-mail:kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp

世界105カ国で広く実践されている 宣教チャレンジコース

第1章 神、神の宣教使命、神の世界
第2章 契約の民、イスラエル
第3章 メシア、メッセーじとメッセンジャー
第4章 世界のクリスチャン・ムーブメントの拡大
第5章 宣教の戦略
第6章 残された働き
第7章 異文化への理解
第8章 ワールド・クリスチャンのチームワーク
第9章 統合



●OB・OG通信●

ご結婚おめでとうございます

廣瀬開師 (二〇一八年度卒) と
林賛美師

二〇二一年四月十日

ご就任おめでとうございます

谷口卓嗣師

上野芝キリスト教会 主任牧師就任

二〇二一年一月一日

山田愛也師

横須賀クリスチャンセンター
副牧師就任

二〇二一年三月十四日

岩佐光師

八木山聖書バプテスト教会
牧師就任

二〇二一年四月一日

豊村泰師

上郡福音教会 主任牧師就任

二〇二一年四月十八日

庄司好男師

可児キリスト教会 主任牧師就任

二〇二一年四月十八日

吉川大師

多聞福音教会 牧師就任

二〇二一年五月九日

召天のお知らせ

曾我部鮎美師 (一九七八年度卒)

二〇二一年九月二十九日 召天

長渡 (旧姓林) 昭子師

(一九七三年度修了)

二〇二一年四月二十一日 召天

杉浦和子師

(一九六七年度卒)
二〇二一年五月十五日 召天

*卒業生の皆様の消息をご連絡
ください。OB・OG通信に掲
載させていただきます。

●KBI祈りの課題●

・コロナ禍でのKBI活動に、
知恵と守りが与えられるよう
に。

・理事、教師、スタッフの健康
と霊性が守られ、祝福がある
ように。

・宣教ウィークで出会った人達
が救いに導かれるように。

・夏期伝道月間での学生の奉仕
がコロナの中でも守られ、導
かれるように。

・築三十年になるKBI施設の
メンテナンスのために。

・来年度の新入生が与えられる
ように。

・昨年度の卒業生、三週間コー
ス修了生の新生活や働きが祝
福されるように。

・近隣に住む方々の救いのために。
【とりなし手の募集】

KBIを覚えて、とりなし祈つ
て下さる方を募集します。是非
kbi-luke24@heraeonet.ne.jp ま
でご連絡ください。毎月祈りの
リクエストをお知らせします。
また、緊急の祈り課題もお伝え
します。

●KBI六十周年●

次号KBIニュースは、六十周
年記念特別号となります。どう
ぞご期待ください。

